

思いっきり遊ぶ単元の魅力 単元「まいにち すべりだい」 ～すべり台ランドを作って、みんなで遊ぼう～

千葉市立金沢小学校教諭

よしだ
かまだ
鎌田
ゆうこ
しゅんいち
優子
俊一



1 はじめに

本校は創立27年目を迎えた、通常の学級23学級、特別支援学級（のぞみ学級）3学級で全校児童721名の比較的大規模の学校である。本稿では昨年度末にのぞみ学級で取り組んだ生活単元学習の実践を紹介する。

2 単元について

のぞみ学級には9名の児童が在籍し、これまで生活単元学習では、学校行事や宿泊学習に向けての取組や遊びなど、子供たちの興味・関心に応じて単元を設定し取り組んできた。子供たちと相談し、思いっきり遊び込んで年度を締めくくろうということになった。

3 単元期間の様子

教室前のオープンスペースを利用して、遊び場を作り、思いっきり遊ぶようにした。単元初日にすべり台を完成し、すぐに遊べるようにあらかじめ足場は組んでおいた。すべり台の組み立ては、インパクトドライバーを使用して、次々と木ネジを打ち込んでいけるようにした。すぐにコツを掴んで夢中になって組み立てを終え足場に設置し、さっそく滑ってみることにした。初めは尻込みしていた子供も繰り返し滑るごとにスリルや楽しさに気付き、滑り終わるとすぐに走って戻り、階段を昇って順番を待つようになった。

友達と自然に関わって遊べるように毛布を用意すると、毛布に包まることでよりスピードが増すことに気付いた。複数枚の毛布を追加すると、今度は一人ではなく友達と一緒に毛布に乗り大勢で滑るようになった。この単元期間中で大事にしたのは、教師も一緒に

なって夢中で遊ぶことである。そうすることで遊び場全体に勢いが生まれたり、一体感が生まれたりすると考えた。繰り返し取り組むことで自然に友達同士が誘い合い、一緒に滑って遊ぶ姿が見られた。



友達と一緒にすべると楽しい！

本校舎三階から聞こえてくる楽しい歓声は一気に全校児童の話題となり、「一緒に遊ばせてください」という声が届いた。相談したところ、「みんなで一緒に遊ぼう」「遊び場の楽しみ方を教えてあげよう」ということになった。よりスリルを味わうためには、頭を前にしたり、仰向けの姿勢で滑ったりすると楽しいということを普段交流に行っているクラスの友達に教えてあげる姿も見られた。

4 おわりに

単元全体を振り返ってみると、夢中になって長時間集中して一つのことに取り組む姿をたくさん見ることができた。教師にとっても新しい発見の連続となり、思いっきり遊ぶ単元のもつ大きな魅力と夢中になった時の子供たちのすごさを感じることができた。

子供たちが仲間と自然に関わり合いながら主体的に取り組む学校生活の実現に向けて、これからも授業づくりを進め、自分から取り組むための「できる状況」を整えていきたい。